

西区コミュニティバスの運行ルート変更について

資料 1

1. 現在の本格運行の状況

本格運行の概要

運行区間	西大宮駅⇄西区役所⇄指扇病院⇄プラザ中央⇄ニツ宮⇄中野林南⇄中野林⇄市民医療センター
運行日時	月曜日から金曜日までの平日8時から19時まで ※年末年始(12月29日から1月3日まで)、土・日、祝日は運行しない。
運行頻度	11便/日(1時間に1本)
車両	小型バス(乗客定員:28人※) ※運転手除く
運賃	180円から270円 ※ICカード(パスモ、スイカ等)の利用可。 ※障害者、子供(小学生)については、大人運賃の半額(未就学児については、大人1名につき2名まで無料。3人目からは子供料金)
運行事業者	西武バス株式会社 大宮営業所

運行ルート・時刻表



西区コミュニティバスの運行ルート変更について

2.運行ルート変更案

①運行ルート変更の目的

- 西区加茂川団地周辺に存在する交通空白地区の解消とともに、利用者の利便性向上を図ることを目的とする。
(主に、公共施設が複数立地している植水地区への利用が見込まれる)
- 沿線の自治会住民から、当該団地は高齢化が進み、買い物・通院難民化が急速に進んでいるとの声が寄せられている。

②運行ルートの変更内容

運行ルートの変更案

現状	運行区間	西大宮駅⇨西区役所⇨指扇病院⇨プラザ中央⇨二ツ宮⇨中野林南⇨中野林⇨ 三条町東 ⇨市民医療センター
	運行距離	運行距離 11.7km (運行時間 43分)
	運行頻度	11 便/日
ルート 変更案	変更箇所	・バス停の廃止(「三条町西」「大宮南高校」「三条町東」「東光院前」) ・バス停の追加(「三条町」「大宮光陵高校」「植水公民館前」「前通」「加茂川団地北」「加茂川団地南」) ・バス停位置の変更(「加茂川団地入口」)
	運行区間	西大宮駅⇨西区役所⇨指扇病院⇨プラザ中央⇨二ツ宮⇨中野林南⇨中野林⇨ 植水公民館前 ⇨市民医療センター
	運行距離	運行距離 13.0km (運行時間 48分)
	運行頻度	10 便/日

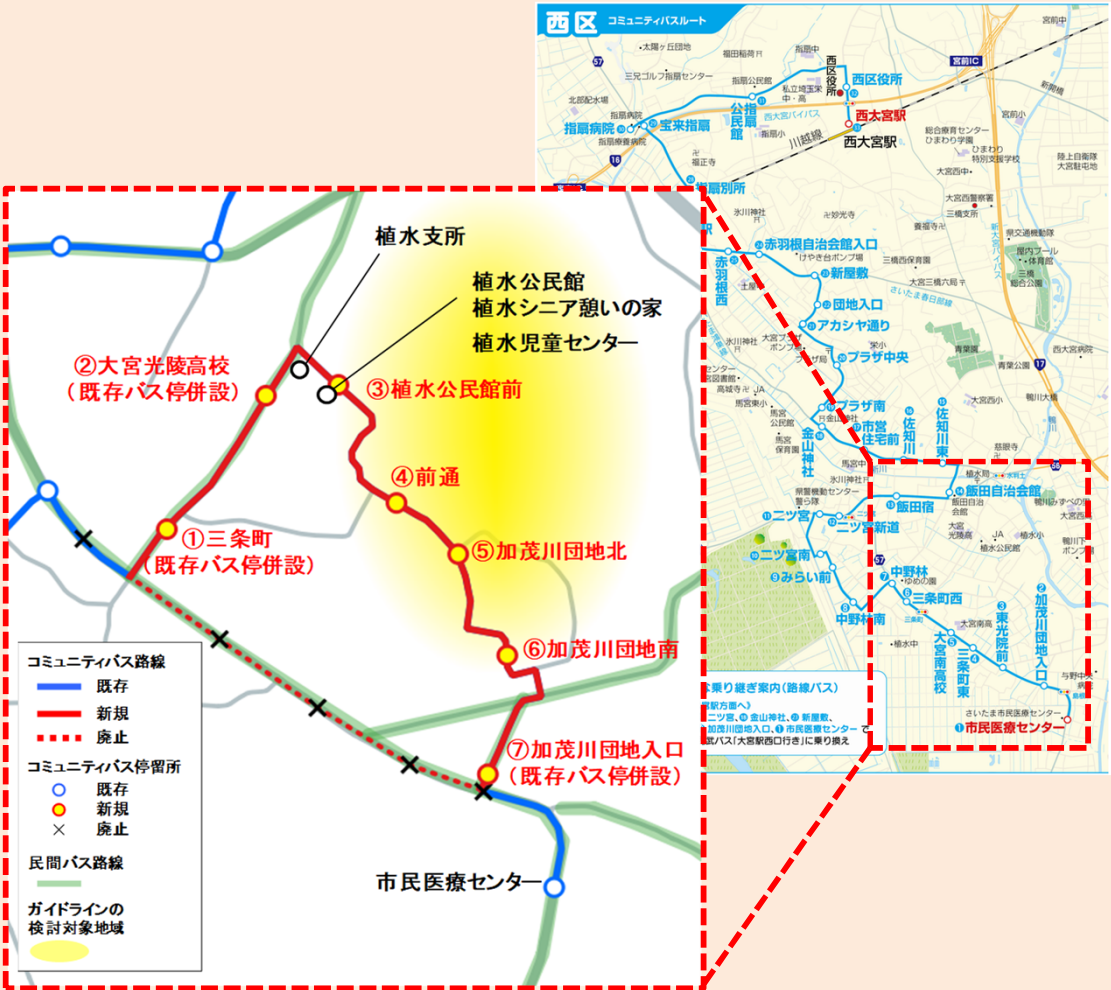
地域組織

○ 地域組織の要件

- ・ルート変更に向けた地域組織が平成31年4月に設立されている。
- ・沿線自治会の会長等で構成されており、地域住民と連携し、検討を進めるために必要な要件を満たしている。

申請年月	平成31年4月
構成員	沿線自治会の会長ほか
沿線の自治会	中野林自治会、中野林南自治会、植田谷本自治会、三条町自治会、加茂川団地自治会、島根自治会

運行ルート案



西区コミュニティバスの運行ルート変更について

3. 収支率の試算

(1) 利用人数の増減の試算

- ・ 需要調査結果をもとに、「①変更後の利用者の増加見込み」を算出
- ・ 乗降調査結果をもとに、「②廃止停留所利用者の減少見込み」を算出
- ・ ①と②より、変更後の利用者は+29人／日増加する見込みとなった。

1) 変更後の利用者の増加見込み

項目	試算結果	算出方法
①現在の利用人数[人/日]	15.3	アンケートで「現在利用している」と回答した方の総利用人数
②変更後の利用人数[人/日]	20.5	アンケートで変更後のバスを「利用する」と回答した方の総利用予定人数
③変更後の利用人数の増分[人/日]	5.2	③ = ② - ①
④人口拡大後の利用人数の増分[人/日]	542.8	④ = ③ × H31.1.1時点15歳以上沿線人口[47,117人] ÷ 有効回答数[455人]
⑤補正後の利用人数の増分[人/日]	51.6	⑤ = ④ × 乗合タクシー5地区の利用人数の補正率の平均値[9.5%]

2) 変更後の利用者の減少見込み

項目	試算結果	算出方法
①現在の利用人数[人/日]	183.0	H30年度利用実績
②廃止停留所の利用割合[%]	3.6	H30年度利用実績、H30.11実施の乗降調査結果より算出
③減便分の利用割合[%]	9.1	③ = 減便する便数[1便] ÷ 現在の便数[11便] × 100
④ルート変更後の利用人数[人/日]	160.5	④ = ① × (1 - ②) × (1 - ③)
⑤利用人数の減分[人/日]	22.6	⑤ = ① - ④

3) 変更後の利用者数の増減

変更後の利用者数の増減[+29.1回/日]
 = 増加見込み[51.6人/日] - 減少見込み[22.6人/日]

(2) 運賃収入・運行経費・収支率の試算結果

- ・ 試算結果、変更後は年間で運賃収入が100万円増加、運行経費が39万円減少、収支率が3.9%増加する試算となった。
- ・ 変更後の収支率は28.8%であり、変更運行移行の要件である前年度以上を満たしている。

1) 変更後の運賃収入・運行経費・収支率の試算

項目	試算結果	算出方法
①運賃収入[万円/年]	813	○総利用人数[51,758人/年] = (H30年度1日当たり利用人数[人/日] ※1 + 変更後の利用者数の増加人数 29.1[人/日]) × 運行日数見込み[244日/年] ○運賃収入 = H30年度平均運賃[157円/回] ※1 × 総利用人数
②運行経費[万円/年]	2,821	○H30年度実績値に運行時間や走行距離の変化を考慮して、人件費や燃料油脂費等の経費を試算
③収支率[%]	28.8	③ = ① ÷ ② × 100

2) 現在と変更後の運賃収入・運行経費・収支率の比較

	運賃収入 [万円/年]	運行経費 [万円/年]	収支率 [%]
現状※1	713	2,860	24.9%
変更後	813	2,821	28.8%
差（変更後-現状）	100	-39	+3.9%

3. まとめと提案

- ・ 需要調査にもとづく収支率試算結果は29%と、ガイドラインに示す変更運行実施の基準である「収支率が前年度以上」（+約4%）を満たしている。
 - ・ 道路の運行要件、関係機関との調整等のガイドラインのチェックポイントも確認済みである。
- 「ステップ3実証運行の準備」に進みたい。

※表内に示す数値表記は四捨五入した値であり、小数点以下を含み算定している。

※需要調査は、令和元年8/3～31の期間に、コミュニティバスの運行ルート（案）沿線300m地域に居住する15歳以上の方々（無作為抽出・郵送）1,492人を対象に実施し、455人から回答が得られ、回収率は30%であった。

※1 西区コミュニティバスのH30年度の実績に基づく

